

漢詩文雑誌「菘竹新誌」

——竹篔詩拾遺——

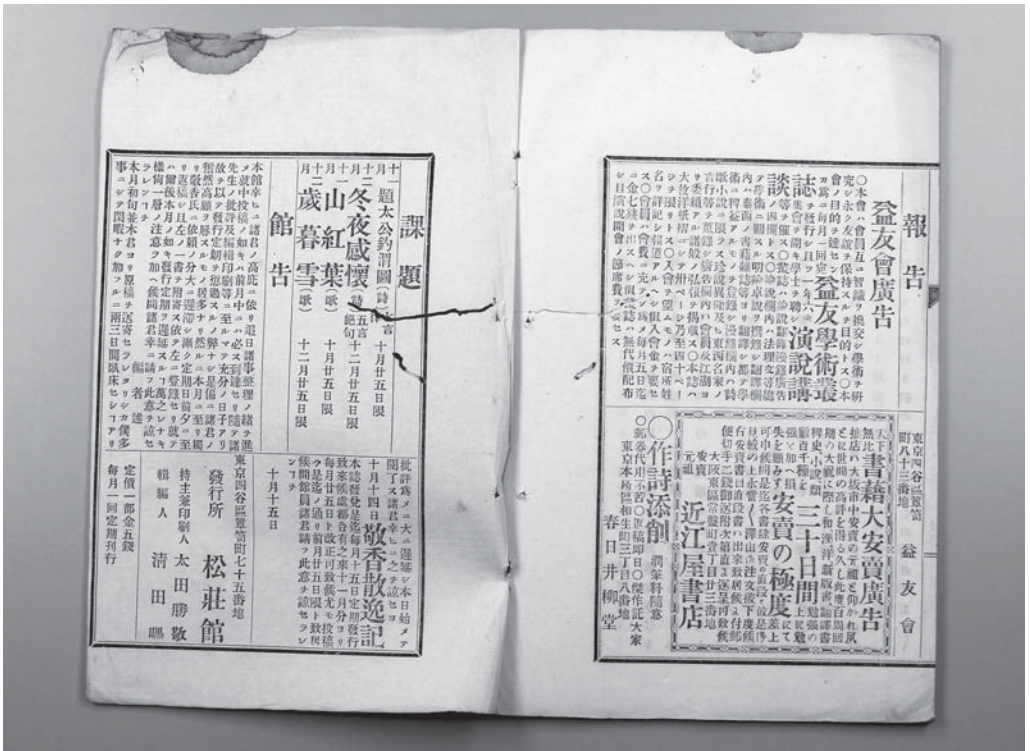
菘 原 正 樹

「菘竹新誌」は、明治十九（一八八六）年に刊行されていた漢詩文雑誌で、東京大学明治新聞雑誌文庫に第五集から八集、及び第十集から十二集、人間文化研究機構國文學研究資料館とカリフォルニア大学に第五集から十二集がそれぞれ所蔵されている。第一集から四集についてはいずれの所蔵機関にも收藏されておらず、また第十三集以降が出版されたか否かについても不明である。

「菘竹新誌」という誌名は、明治十七（一八八四）年十一月から明治十八年の十月にかけて刊行された「菘竹新篇」（第一集のみ「菘竹吟篇」と題す）という漢詩文雑誌と酷似しており、おそらくは「菘竹新篇」を繼承する意圖をもって發刊されたのであろう。そのことは兩誌の奥附からも窺うことができる。「菘竹新誌」の第五集（明治十九年五月十五日刊）から十二集（同年十二月二十五日刊）の奥附には、「發行所 松莊館」「持主兼印刷人 太田勝敬」「編輯人 清田嘿」とあり、これは「菘竹新篇」第十集（明治十八年八月二十五日刊）から第十二集（同年十月二十五日刊）までの奥附に「發行所 松莊館」「持主兼出版人 太田勝敬」「編輯人 清田嘿」と見えるのと同じである。

「菘竹新篇」に關しては、以前の拙稿「竹篔若年の詩詞文―集外詩詞四十九首及び佚文五篇―」（『風絮』第三號所收、二〇〇七）において觸れたことがあり、溝口桂巖の弟子であった河邊錦之丞、太田勝敬、森本鉦太郎らが中心となって編集、出版が行われていた雑誌であった。また發行所として名の擧げられている「松莊館」は、森川竹篔の父・莊次郎の室號であり、さらに奥附に「補助 東京翹町區三番町卅四番地 森川竹篔」と見えることから、當時十六・七歳であった竹篔も雑誌の運営や編集に關わっていたと考えられる。

今回紹介する「菘竹新誌」も發行所は「松莊館」であり、このことからすれば森川竹篔との關連が想像されるが、しかし「菘竹新誌」奥附に見える「松莊館」は、住所が「東京四谷區筆筒町七十五番地」となっており、これは「菘竹新篇」の「東京翹町區三番町三十四番地」という住所と合致しない。翹町區三番町三十四番地は當時の竹篔の居所であって、「菘竹新篇」の發行に竹篔が關與していたことは明白であるが、「四谷區筆筒町七十五番地」という「菘竹新誌」の住所が竹篔とどのような關連があるのか、今のところ不明である。



また竹篔は、明治十八年十二月二十五日に、自らが主宰する「鷗夢新誌」の號外を發行し、翌明治十九年一月の第一集以降、月刊で「鷗夢新誌」の刊行を續けていることから、同時期の月刊誌である「菘竹新誌」の發行や編輯にまで關わる餘裕は無かつたのではないかと思われる。だとすれば、「松莊館」という發行所名は、「菘竹新誌」が「菘竹新篇」の繼續誌であることを示すために用いられたものであり、あるいは竹篔が、舊知の太田勝敬や清田嘿にその名稱を貸したただけであつたのではないだろうか。

「菘竹新誌」は、まず各卷の卷頭に、

凡例

- 一 此編專掲館員之文章詩歌、旁採諸名流之作。
- 一 此編隨得隨錄、非以次第之先後而評文品之甲乙、讀者諒之。
- 一 江湖諸君、不吝枕秘、幸惠佳什。
- 一 投寄詩文、有評語者併惠之、然本館時或取捨之、請諒之。
- 一 投寄詩文、猥褻不經失風雅之旨、暴論激說害國家之安者、俱不採錄。

編者識

(評點は筆者に據る)

という「凡例」があり、續いて「松莊館諸君囑ノ荆南楊子鴻題時ノ光緒丙戌春三月」という題記とともに「篇篇珠玉絶塵埃、大雅才兼小雅才。怪得詞林春意鬧、寫花爭向筆端開」という七言絶句が掲げられている。その後「文苑摘英」「詩林採芳」「鬪詩」「敷島拾珠」という欄が設けられて、それぞれに詩文と和歌(「敷島拾珠」欄)が收載され

ている。「鬪詩」欄の評者は、市川湫村(第五、七、九、十二集)と溝口桂巖(第六、十集)、また詩文の評正者には、湫村、桂巖、のほか、大沼枕山、重野成齋、宮原貝崖、馬杉雲外、大江敬香、福井學圃らが名を連ねている。

「菘竹新誌」は、先に記したように所藏機關における收藏が少なく傳存も稀で、これまでほとんど取り上げられることが無かつた。だが當然ながら、明治期の漢詩文研究においては重要な資料である。残念ながら第一集から四集を缺いているが、五集以降においてもこれまで知られていなかった多くの作品を得ることができると述べている。前述のごとく、「菘竹新誌」の發行自體に森川竹篔が深く關つたとは思えないが、竹篔の作品は詩六首が收められており、このうち五首は未見の作品であつた。

そこでまず「竹篔詩拾遺」として未見詩五首を示し、その後に「菘竹新誌」の細目を掲げる。さらに末尾には「菘竹新誌」の前身である「菘竹新篇」の細目を附載し、諸家の參考に供したい。

竹篔詩拾遺

「菘竹新誌」所收竹篔詩

〔詩六首〕

○詠史(「菘竹新誌」第五集、明治十九年五月十五日刊)
從自斯公入龍夢、挽回晁日掃妖祲。
奇兵向敵死不顧、固守報君千窟岑。
宜矣致身傳偉績、善哉訣別授遺箴。

將星殞落湊水上、七道民生膽氣沈。
身後誰磨殉國劍、忠魂豈忘濟時心。
千秋櫻井驛猶寂、萬古金剛山亦深。
苦月娟娟孤墳畔、腥風颯颯度寒林。
英雄自古多如此、獨對史編淚不禁。
至竟精忠諸葛比、不然氣節天祥任。
可知今古少儔匹、後世人臣頂上針。

○宵燭歌（「葦竹新誌」第八集、明治十九年八月十五日刊）

漠漠腐草逢霖雨、雨餘腐草化成形。
無星無風又無月、夜夜飛過椽柳汀。
汀渚飛過度窗牖、窗牖之外幾青星。
一滅一明明又滅、群動群飛不暫停。
君不聞車胤家貧無燈火、絹囊盛來讀書檣。
又不聞隋皇大業未成比、徵求放之岩谷坳。
一極游歡失大位、一極大道名姓馨。
車胤今已何處在、無復捕之照史經。
隋皇今已何處在、無復徵之放石墜。
報汝休徒穿竹樹、漫放青光奮輕翎。
竹樹之中有栖鳥、只恐栖鳥眠忽醒。
宵燭身微心亦小、一庭應思天下寧。
嗚呼宵燭雖小堪可愛、能散冷焰破晦冥。

○新秋夜雨（「葦竹新誌」第十集、明治十九年十月十五日刊）

几窗猶懶對書檠、秋入病牀眠不成。
至竟美人元薄命、由來才子太多情。
芙蓉池上羨鴛夢、蟋蟀聲中親藥瓶。
此感涼宵遣無處、暗愁和雨到三更。

○歲晚口占二首（「葦竹新誌」第十二集、明治十九年十二月二十五日刊）

宿志欲成猶未就、駭然已過十星霜。
青山白水思千里、綠酒紅燈夢一場。
才學短於鳧脛短、感情長似鶴齡長。
不期強上青雲去、身世恨他駒隙忙。

其二

兀生爐邊憶舊盟、孤燈明滅暗愁生。
疏梅半面枝方冷、殘菊一瓶花尚清。
吟客叩詩驚歲暮、凍禽求食叫冬晴。
斯身也飲匆匆恨、引得人閒感慨情。

※「葦竹新誌」第十一集（明治十九年十一月二十五日刊）に「新秋雨夜」という作品が收められているが、この詩は「螢雪學庭志叢」第一一四號にも収録されている。³⁾

「菘竹新誌」第五集、第十二集細目

○「菘竹新誌」第五集（明治十九年五月十五日刊）

文苑摘英

石田三成論

稚郎子論

題群盲評器圖

節婦阿千傳

常磐之論

赤穂義人論

詩林採芳

海舟中作

遷上二十首（錄二）

所見

江閣（原五節二）

吊今井四郎爲其後裔千尋君

小金井觀花（舊製）

四月初九與吉岡星秋君飲于牛門求友亭時君遊期已迫（三首）

再逢野上剛腸

初夏偶成（二首）

春日過大石故邸

春日偶成

偶成

春江晚遊（余偶得宋試以繁花迎醉客啼鳥喚遊人之十字爲韻作十首

錄二）

春日江居

牛蠱行

過去戰場（次小田切桃蔭兄韻）

詠史

賞花

詠牡丹

墨水別人

春日江村

杉霜臺

川上孝女被贈芍藥不堪欣喜賦此以謝

寄懷松岡柳處兄（在仙臺 原五節一）

暮春感懷

春雨

詠老梅五律（節一）

吊今井兼平

美人撲蝶圖

夜遊梅園（遇某友和其韻）

春日郊行五絕（錄一）

東京 藤岡秋香

紀伊 小田切桃蔭

上總 猪野負山

東京 村田樗堂

東京 平田耕石

東京 森川竹磻

岩代 佐藤關子

東京 內山松堂

肥後 服部兔谷

東京 池田蘭亭

紀伊 水島春汀

東京 戶川蘭香

陸前 伊藤柳江

東京 石井竹詮

上總 今井晚翠

東京 春日井柳堂

東京 東海林隣巒

東京 植松層雲

美濃 玉井東洋

東京 望月成園

鬪詩（市川湫村先生評點）

(金) 遊山遇雨

東京 村田樗堂

題しらず

東京 上松千枝

(石) 全

上總 猪野負山

遊山遇雨

肥前 清田 寅

(絲) 全

東京 平田耕石

風前椿

武藏 福島于石

(竹) 全

肥後 服部兔谷

小楠公

東京 柿沼知忠

(匏) 全

東京 湊 庸堂

雲雀(課題)(秀逸)

肥前 清田 寅

(土) 全

山城 石井梅仙

全

遠江 矢田政知

(革) 全

美濃 飯島竹塘

全

東京 村田樗堂

(木) 全

武藏 草間臥雲

全

武藏 山根正純

敷島拾珠

東京 鈴木重嶺

全

武藏 鈴木房政

守屋大蓮

東京 佐々木弘綱

全

東京 本城竹窗

水

薩广 鋤柄頼雄

全

東京 上松春幹

北條時宗

越後 吉川茂明

全

伊豆 松尾三郎次

朝霞

武藏 山根正純

全

讚岐 江夏晴友

關路鶯

東京 石井竹塗

全

上野 山田忠一

山櫻

東京 竹園主人

全

紀伊 松谷 翠

山路落花

上野 柿沼能彦

○「葦竹新誌」第六集(明治十九年六月十五日刊)

暮春鶯

東京 河津祐友

文苑摘英

東京 蒲生襲亭

瀧邊藤

岩代 佐藤せき

宜春樓記

東京 坂本紫海

聞殘鶯

武藏 鈴木房政

讀日本外史

肥後 藤村梅押

春祝

岩代 鑑澤堅三

蝙蝠説

東京 藤波仙山

寄水陳志

東京 本城竹窗

源義經論

東京 藤波仙山

詠史

送某入士官學校序
常磐論

東京 池田蘭亭
相摸 安西青雲

竹陰讀書
憶人

相摸 加藤壽山
東京 石井竹詮

詩林採芳

題袁竹新誌二首

東京 宮原貝崖

暮春

肥後 服部兔谷

江閣（原五錄一）

東京 西湖釣史

暮春

近江 中川章齋

水哉堂主人爲余製一絃琴率賦鳴謝

長門 村上月村

觀魚形水雷火

東京 山崎丹石

遷上殘春三首（錄一）

東京 竝木菊坡

寫真鏡歌

東京 藍 塊陰

初夏

加賀 鈴木清韻

賞花

東京 山本 貞

春晚過玉川

上總 桑田清音

惜花

東京 鹽川雲溪

燕

京東（マヅ） 平田耕石

見牡丹

東京 鹽井拵子

首夏偶成

東京 東海林隣巒

香山雜詠

東京 高橋瘦梅

源將軍觀櫻花

東京 植松層雲

蠶詞

武藏 蓬洲山人

春夜讀書

武藏 田中清風

鬪詩（溝口桂巖先生評點）

武藏 蓬洲山人

廢寺看花

武藏 加々見清流

（天）題盡

紀伊 小田切桃蔭

經古戰場

東京 中村克堂

（地）全

紀伊 小田切桃蔭

櫻井驛懷古

紀伊 水嶋春汀

（人）全

東京 平田耕石

春夜聞笛

東京 內山松堂

（子）全

東京 松尾喜雨

五月十六日與雨塘蘭亭拙齋虎月諸子觀杜鵑花于大久保村花期已過不

堪遺感賦此以示諸子

（丑）全

佐渡 山本勒齋

遊躑躅園

東京 戶川蘭香

（寅）全

紀伊 水島春汀

詠老梅五律（錄一）

東京 里村里子

（卯）全

東京 梅村香軒

老狸化鑑圖

東京 春日井柳堂

（辰）全

武藏 草間臥雲

老狸化鑑圖

東京 村田樗堂

（辰）全

紀伊 佐々木鍊嶺

(巳) 全

東京 村田樗堂

同

東京 中村克堂

(午) 全

東京 東海林隣巒

同

紀伊 松谷 翠

(未) 全

東京 戸川蘭香

同

岩代 佐藤せき

(申) 全

攝津 鹽川雲溪

同

肥後 坂本源太

(酉) 全

越後 中村松堂

同

東京 河津祐友

(戌) 全

東京 冢田琴嶺

同

石狩 福島于石

(亥) 全

讚岐 松澤春眠

同

東京 上松蕉翁

敷島拾珠

同

遠江 矢田政知

杜鵑(課題)

武藏 山根正純

夏述懷

相摸 宮臺有米雄

同

東京 上松春幹

述懷

薩广 鋤柄頼雄

同

上野 柿沼熊彦

卯花似雪

東京 上松干枝

同

安房 遠山於兔二

夜卯花

東京 石井竹淫

同

近江 上坂辰次郎

不見戀

武藏 山根正純

同

岩代 鑑澤堅三

政子

東京 柿沼知忠

同

東京 太田喜平

○「葦竹新誌」第七集(明治十九年七月十五日刊)

同(秀逸)

讚岐 松澤春眠

文苑摘英

同

武藏 多々良玄心

宜春樓記

攝津 菊池三溪

同

肥前 清田 寅

書墨水三十景詩後

常陸 綿引東海

同

攝津 鹽川雨溪

明治筆花集序

東京 奧宮東鳴

同

武藏 鈴木房政

秋燈餘光自序

東京 磯部蒼畦

同

東京 村田樗堂

鷺說

東京 田島鐵肝

同

岩代 本城竹窗

竹窗文詩敍

相摸 安西青雲

春江晚眺

東京 近藤桂窗

七福神記

上總 永島竹操

晚春雜詩(録一)

東京 春日井柳堂

詩林採芳

晚春近村散策

武藏 溝口桂巖

香山雜咏

東京 高橋瘦梅

題萍華百律後

東京 市川湫村

北江歸帆

陸前 柳生松洲

題自畫墨竹

東京 岱東散人

題牡丹

攝津 鹽川雲溪

春風(春季三十詠之一)

讚岐 松澤春眠

夏日溪居

陸前 伊藤柳江

別後寄懷友人

肥後 高田兔谷

閨中雜詩(節一)

東京 平田耕石

夏日山居

東京 中村克堂

江村即興(限韻)

相摸 丸岡樂山

夏夜雨後

磐城 本城竹窗

詠竹

上總 安西青雲

拜先妣小照書感

長門 村上月村

送友人

上總 今井晚翠

鶯谷温泉雜詩

東京 梅澤晚翠

春夜讀書

東京 桑田清音

過古戰場

上總 大木翠塘

夏夜偶成

越後 池田蘭亭

偶成似社中諸子(有引略之)

東京 岡田靜淵

寄懷友人在京師

武藏 中村松堂

江上晚眺圖

東京 林 怡雨

春日過玉川

東京 田中清風

水亭觀螢

岩代 佐藤關子

送大島某之兵庫縣

東京 成園散人

夜過墨江

東京 東海林隣巒

鬪詩(市川湫村先生評點)

東京 平田耕石

偶成

加賀 鈴木清韻

(金) 夏日幽居

東京 村田樗堂

題畫

上總 猪野負山

(石) 全

東京 高橋瘦梅

閑居作

東京 石井竹淫

(絲) 全

東京 小西平洲

客舍聽子規

播磨 三木如雲

(竹) 全

東京 鈴木清韻

市川驛客舍作

東京 村田樗堂

(匏) 全

讚岐 松澤春眠

(土) 全

(革) 仝
東京 中村克堂
(木) 仝
東京 鶯溪散人

敷島拾珠

水邊螢(課題)

岩代 鎧澤堅三
遠江 矢田政知
武藏 山根正純
同 鈴木政房
東京 田村幸一
安房 遠山於兔二
岩代 本城竹窗
武藏 多々良玄心
東京 石井竹淫
肥前 清田 寅
東京 村田樗堂
讚岐 松澤春眠
東京 河津祐友
同 (秀逸)
同 彦根やす
紀伊 松谷 翠
武藏 福島于石
東京 田中春城
上野 柿沼熊彦
寄駒述懷
東京 上松千枝

閑居水鷄

田家蚊遣

海邊蚊遣

寄爾戀

變戀

寄海戀

送別

風前螢

同

兒島高德

同 田村幸一

同 上松雀翁

遠江 矢田政知

武藏 鈴木房政

武藏 山根正純

東京 上坂辰次郎

同 大島氏時

薩摩 竹園主人

駿河 神保國家

東京 柿沼知忠

○「菘竹新誌」第八集(明治十九年八月十五日刊)

文苑摘英

贈星野編修赴京攝採訪文書序

留春帖八帙自序

橘洲菅翁七十七壽序

月夜觀蓮花記

楠正成論

秦皇焚書論

東京 宮原貝崖

遠江 川上柳外

讚岐 松澤春眠

東京 小川翠磔

上總 田島鐵肝

安藝 松井端海

詩林採芳

松平公四谷邸中、有一山水、極佳、列茶店於其間、以供都人遊賞云

東京 市川湫村

柴田勝家	東京	南摩羽峯	題山靜日長圖	東京	植松層雲
君去津	東京	菊池九江	夏日山中	東京	內山松堂
仲國訪小督局圖	伊勢	齋藤誠軒	美人午睡圖	東京	鹽井六石
陌頭吟	武藏	溝口桂巖	坂越浦歸帆(赤城八勝之一)	播磨	水香女史
新秋夜坐	東京	大江敬香	晚景	東京	石井竹詮
拜久能廟	東京	清田快雨	牛蠱行	東京	春日井柳堂
不二山歌	東京	山下鶯陵	夏日山居	武藏	根來南海
聞怨(舊製)	東京	竝木菊坡	牽牛花	東京	藤澤竹所
夏日同諸友飲于品川鮫洲川崎樓	東京	東海林隣巒	春江晚遊(其三及四)	紀伊	小田切桃蔭
納涼	東京	芥川盈涯	夏日雜詩	東京	磯部蒼涯
送松村君歸鎮西	肥後	服部兔谷	夏日書齋偶得	東京	戸川蘭香
寄新井咬菜	相摸	森本沖洲	夏日幽居	上總	猪野負山
謝某生惠支那扇	相摸	新井咬菜	敷島拾珠		
偶成	武藏	草閒臥雲	金澤八景をよめるうち瀬戸秋月	東京	黒田清綱
寄贈廣井子重(余發鄉之日子重以瓢爲醴余酬以文魁堂所製毫繫此詩)	長門	村上月村	蓮	信濃	笹野文夫
過古戰場	紀伊	水島春汀	雨後夏月	武藏	山根正純
全	相摸	横溝翠浦	樹蔭蟬	武藏	鈴木房政
全	東京	田村鶯塘	竹亭夜涼	東京	上松雀翁
全	武藏	田中清風	納涼	東京	中村克堂
午眠	東京	上坂竹翠	夕立	東京	田村幸一
宵燭歌	東京	森川竹篔	新羅三郎足柄山吹笙圖	東京	上松千枝
二州橋納涼	東京	田中竹陰	海路	東京	村田樗堂

歸帆 上野 小暮 麓
平敦盛 東京 柿沼知忠

秋景夜興 越後 今成桐蔭
海樓望月 上總 猪野負山
秋日山居 東京 平田耕石

○「葦竹新誌」第九集（明治十九年九月十五日刊）

文苑摘英

春江晚遊（十首之一） 紀伊 小田切桃蔭
日暮過礪川橋書感 東京 東海林隣巒
客舍偶成 紀伊 佐々木鍊嶺

留春帖引 東京 三島中洲

讀徠徠文集戲題其後

留春帖引 東京 依田百川

秋日即事 東京 奧宮淑堂

瞻本敬字文序 東京 奧宮東鳴

秋江聞砧 播磨 水香女史

父子不責善論

漫堤雜吟（十首之一） 東京 小川翠溪

忘却書屋記

詠史 加賀 鈴木清韻

平重盛論 東京 磯部蒼崖

偶成 東京 春日井柳堂

詩林採芳

中秋月 東京 田村鸞塘

元橋蓉堂寄桂巖咏物七言一律曰自號蓉堂而不知其所出因請余製七言

過古戰場 加賀 加々見清流

一律以辨之然余老懶甚矣故不能作七律聊賦一絕充其責云

全 上總 桑田清音

薩肥州望嶽圖 武藏 溝口桂巖

清泉亭秋夕（五首以題爲韻節一） 遠江 森山東陽

始晤湫村詩祖席上 東京 市川湫村

江上納涼 播磨 桑野榴外

留春帖題詞 東京 石井南橋

夏山遇雨 東京 里村里子

楠正成 讚岐 赤松棕園

夏山驟雨 武藏 草間臥雲

哭妹 東京 清田快雨

詠梨花 東京 林 保彦

題嵐山圖 遠江 川上柳外

墨水晚行 上總 大木翠塘

詠龜 長門 村上月村

謁四十七義士古墳 播磨 赤井耕雲

詠龜 東京 俗東散人

夏日山居 武藏 根來南海

湖上光景

東京 小西楚山

同(秀逸)

東京 村田徽典

題畫

東京 梅村鶯村

同

讚岐 松澤春眠

中秋觀月

播磨 小川赤孟

同

東京 時岡茂弘

驟雨

東京 池田蘭亭

同

尾張 村瀬弘信

經某妓墓

東京 中村克堂

同

紀伊 松谷 翠

題山水圖

東京 山本貞太郎

同

東京 福本 寬

秋夜獨坐

播磨 津田櫻村

同

東京 上松雀翁

山居

上總 今井晚翠

同

上總 大木健次郎

鬪詩(市川湫村先生評點)

(喜) 海樓對月

遠江 森山東陽

同

岩代 鎧澤堅三

(怒) 仝

東京 村田樗堂

早苗

東京 村田樗堂

(哀) 仝

東京 田中竹陰

雨後夏月

武藏 山東正純

(懼) 仝

東京 大木玄湖

夕立

相摸 新井咬菜

(愛) 仝

東京 中村克堂

旅路夕立

武藏 多々良玄心

(惡) 仝

東京 平田耕石

遠夕立

相摸 宮臺鎮雄

(欲) 仝

東京 田村鶯塘

晚夏風

上野 上田忠一

敷島拾珠

庭夏草

東京 内山松堂

浦月(課題)

武藏 佐賀廣親

詠松

播磨 水香女史

同

東京 田村辛一

隱者

上總 大木翠塘

同

肥後 清田 寅

披書知昔

尾張 村瀬弘信

同

東京 藤原昭之

野露

東京 石井竹詮

秋扇 東京 上松千枝
曉菊 東京 柿沼知忠

悼詩贈某氏 武藏 草間臥雲
嚴島回廊觀月 安藝 小西楚山
初秋夜宴 播磨 赤井耕雲

○「葦竹新誌」第十集（明治十九年十月十五日刊）

文苑摘英

秋日郊行 東京 奧宮淑堂
秋夜雜感 武藏 梅澤癡堂

張巡殺妾論

秋雨漫題三首（錄一）

東京 岡田清淵

黃鸝說

壇浦懷古

東京 春日井柳堂

東州詩文稿序

題韓信股脛圖

紀伊 佐々木鐵嶺

加藤清正論

十四夜池亭觀月

紀伊 水島春汀

送永井子栗之東京序

觀菊 播磨 小川赤孟

東京 安藤綠峯

詩林採芳

雉子橋途上

東京 內山松堂

九月念三日赴招宴於清國公使館席上賦似徐君

隱者

東京 小川翠溪

寄題雙尖詩屋

灑江秋夜

東京 高橋瘦梅

牽牛花

江村

播磨 桑野榴外

秋興

月夜浮信川

越後 中村松堂

新秋夜雨

早發

東京 石井竹詮

函嶺木賀神代樓雜詠（錄一）

偶成

上總 大木翠塘

過一谷有感

過湊川

上總 永島竹操

寄平田石門兄

秋日舟行

近江 池田蘭亭

新秋偶得二十八字

素性法師長月歌意

東京 村田樗堂

仙洞雜詠（錄一）

春江晚遊十首（其六其七）

紀伊 小田切桃蔭

播磨 三木如雲

東京 林 怡雨

東京 小西平洲

東京 平田耕石

鬪詩（溝口桂巖先生評點）

（子） 初冬夜坐

遠江 森山東陽

（丑） 全

東京 雨竹散人

（寅） 全

東京 東海林隣巖

（卯） 全

讚岐 松澤春眠

（辰） 全

紀伊 水島春汀

（巳） 全

東京 平田耕石

（午） 全

東京 内山松堂

（未） 全

上總 大木翠塘

（申） 全

東京 田村横塘

（酉） 全

東京 松尾喜雨

（戌） 全

東京 内田扛山

（亥） 全

加賀 鈴木清韻

敷島拾珠

谷菊（課題）

攝津 鹽川 達

全

東京 村田徽典

全

東京 村瀬弘信

全

東京 内山松堂

全（秀逸）

武藏 多々良玄心

全

東京 田村幸一

全

攝津 辻本道勝

全

武藏 山根正純

全 全

東京 時岡茂弘
東京 上坂辰次郎

茸狩

東京 高崎正風

夜禱衣

山城 草刈翠玉

月前雁

東京 田村幸一

海邊鹿

攝津 鹽川 達

寄月祝

武藏 山根正純

月前露

東京 雀翁

聞砧

播磨 水香女史

尾花

岩代 鎧澤堅三

月の歌よみける中に

東京 村瀬弘信

月下鹿

山城 五十嵐翠

閑居琴

美濃 井上風軒

月前雲

武藏 飯島太郎

野蟲

上野 望月 麓

○「菖竹新誌」第十一集（明治十九年十一月二十五日刊）

文苑摘英

法越交戦記序

清人 張 滋昉

祭杜岡文平文

東京 宮原貝崖

史論跋

遠江 森山東陽

遊黄葉村記

東京 藤村梅押

小早川隆景論

安藝 小西楚山

雲喻

播磨 水香女史

經泉嶽寺

東京 内田扛山

漫興詩集自序

東京 奧宮東鳴

開爐

東京 内田扛山

冬夜

安藝 小西楚山

過某戰場

東京 芥川盈涯

經古戰場

上總 小川翠溪

聞雁

播磨 司波鹽洲

秋夜

上總 今井晚翠

秋雨漫題三首 (節一)

東京 岡田清淵

秋日田園雜興

東京 時岡蕉雨

初夜幽莊

播磨 水香女史

秋江晚歸

遠江 森山東陽

虎狼疫行竝序 (今茲丙戌、夏秋之交、惡疫大行、毒焰猛烈、死者甚衆、我丸龜亦有罹其疫者、俗呼曰虎列刺、又曰虎狼疫、余幸得無恙、

因作虎狼疫行)

讚岐 松澤春眠

秋夜偶成

紀伊 佐々木鐵嶺

秋夜思鄉

播磨 赤井耕雲

月夜浮信川

越後 中村松堂

答人問因果有無

武藏 草間臥雲

美人午睡圖

東京 戸川蘭香

春江晚遊十首 (其八)

東京 高橋瘦梅

題畫

紀伊 小田切桃蔭

秋日送友人之西京

東京 田村橫塘

將出遊和某氏韻

東京 福島蓬嶽

江上秋晴

上總 大木翠塘

秋日與諸子訪友人居

山城 高林 齊

過遠州洋

美濃 飯嶋櫻塘

月下作

近江 林 佳影

夜歸即事

東京 梅澤鶯村

墨江送客

東京 中村克堂

天長節

攝津 鹽川雲溪

秋柳

東京 平田耕石

新秋雨夜

東京 森川竹篔

寄古鄉

東京 東海林隣巒

益友會席上寄竝木立花二氏

東京 磯部蒼畦

垂釣

播磨 三木如雲

初冬雜吟

武藏 梅澤癡堂

病中作

東京 奧宮淑堂

和川北梅山君韻

清人 張 滋昉

瓊矛餘滴題詞二首

東京 市川湫村

敷島拾珠

山紅葉（課題）

大坂 辻本道勝

全 遠江 森山まこと

全 松澤春眠

全（秀逸） 大坂 鹽川達三郎

全 東京 秋野 清

全 徵 典草

全 武藏 山根正純

同 東京 上松春幹

同 武藏 多々良玄心

同 尾張 村瀬弘信

同 武藏 鈴木房政

同 大坂 辻本 一

嶺上秋月 武藏 山根正純

艸花帶露 越後 星野東潭

三日月 武藏 鈴木房政

園中菊 遠江 森山まこと

谷菊 東京 赤阪雀翁

社頭紅葉 大坂 鹽川 達

秋盡 尾張 村瀬弘信

寄弓戀 岩代 鑑澤堅三

寄時雨戀 東京 上松千枝

讀律書 石狩 福島于石

老後述懷

折にふれてよめる

紀伊 松谷 翠

海邊紅葉 山城 五十嵐翠

殘紅葉 美濃 井上風軒

故郷艸 磐城 西尾英香

片思 東京 鈴木于石

初戀 東京 山高正義

寄艸戀 上野 福島千代

○「葦竹新誌」第十二集（明治十九年十二月二十五日刊）

文苑摘英

菅原道眞論 東京 宮原貝崖

可笑先生傳（傳文成濟堂手、而論贊係東鳴筆）

送合田士毅序 東京 奥宮淑堂

題顏眞卿墨帖 遠江 松澤春眠

送大田至善歸福島序 遠江 森山東陽

送田中某之華盛頓府序 東京 奥宮東鳴

詩林採芳 東京 成園散人

晚翠吟社席上題蘆岸秋晴分元韻

訪綿引東海酒閒賦贈 清人 張 袖海

吊嵩君古香喪其内子 武藏 溝口桂巖

江湖閣 東京 市川湫村

東京 西湖釣史

立命館白川靜記念東洋文字文化研究所紀要 第八號

秋日遊墨上(原十首)

東京 山下鶯陵

庭松

東京 内田扛山

芳原竹枝

東京 市川湫山

詠史

東京 高橋瘦梅

歲晚口占二首

東京 森川竹篔

送人之歐州

東京 中村克堂

秋雨漫題

東京 岡田靜淵

初冬夜坐

東京 植松層雲

秋日浮舟

安藝 小西楚山

初秋偶成

越後 星野源

馬山陳圖

東京 東海林隣巒

春江晚遊十首(其九其十)

紀伊 小田切桃蔭

粟津懷古

攝津 鹽川雲溪

寒夜讀書

播磨 小川赤猛

鬪詩(市川湫村先生評點)

讚岐 松澤春眠

雪後探梅(限韻)

羽後 橫川雨塘

(金) 冬夜感懷

東京 村田樗堂

寄澤一舟兄

東京 蓬萊山人

(石) 全

東京 平田耕石

曝背

東京 村田樗堂

(絲) 全

東京 松尾喜雨

冬夜讀書

播磨 小林翠洲

(竹) 全

東京 草間臥雲

探梅

東京 平田耕石

(匏) 全

武藏 田村鶯塘

散策

東京 春日井柳堂

(土) 全

東京 遠江 森山東陽

歲晚述懷

武藏 草間臥雲

(革) 全

上總 大木翠塘

開化雜詠二十首(錄三)

武藏 梅澤癡堂

(木) 全

東京 鈴木房政

秋日湖村圖

東京 林 怡雨

敷島拾珠

東京 村瀨弘信

出戰詩

上總 小川翠溪

歲暮雪(課題)

同 山根正純

雪中口占

東京 時岡蕉雨

同

同 多々良玄心

賞菊

上總 大木翠塘

同

同 時岡茂弘

冬夜聽雨

土佐 萩野巒峰

同(秀逸)

同

別後贈某

遠江 森山東陽

同

同

送大村曹長之海外

甲斐 加茂葵影

同

同

同	紀伊	新藤琴子
同	下野	碌々居士
同	岩代	鑑澤鐵造
朝霜	東京	多々良玄心
擣衣	播磨	中村良清
月前落葉	東京	鈴木房政
冬山	播磨	小川眞澄
爐邊懷舊	東京	山根正純
歲暮	上總	小川翠溪
寄雪述懷	長門	不時梅
寄竹祝	東京	田村幸一
田家烟	同	中村克堂
難逢戀	大坂	本多清念
寄石戀	紀伊	松谷翠
青樓	東京	村瀬弘信
同	淡路	小島一
絃妓	丹波	山田五郎
寫眞	東京	上松千枝

〔參考〕「某竹新篇」第壹集、第十二集細目

○「某竹吟篇」第壹集（明治十七年十一月刊）

文

某竹吟篇序

溝口桂巖

東灣詩鈔序

愛松說

竹說

松園說

鶴堂文稿序

書某君寫影後

送加島君赴任序

友人某三省遺稿序

題輕氣球圖

詩

橫濱行

冬日觀王行松（松在東臺山北）

冬日訪友人（次韻）

春雪

詠松

全

全

全

全

全

秋江所見

那須與市射扇圖

市川湫村（在東京）

相川桂山（在武藏）

大橋甫山（在大坂）

雪樵數度（在東京）

田村鵬雲（在東京）

小管正鶴（在武藏）

加藤香齊（在武藏）

森田磐陽（在東京）

小田部子洗（在東京）

溝口桂巖（在東京）

馬杉雲外（在東京）

大江敬香（在東京）

清田快雨（在東京）

森川竹篔（在東京）

篠崎耐堂（在東京）

高木菊坡（在東京）

子安和暢（在東京）

湊庸堂（在東京）

松崎蘭香（在東京）

竹原鴨洲（在東京）

築山翠苔（在東京）

秋夜圍碁

鈴木清韻 (在武藏)

始聞秋聲

澤一舟 (在東京)

月夜看蓮

松尾靜山 (在東京)

新秋

藤澤竹所 (在東京)

題烈王擊魯國圖

近藤恭堂 (在東京)

夏日游玉水

小野田陽塘 (在東京)

秋日山行

關秋堂 (在東京)

春曉

橫手甲陽 (在東京)

冬闈怨

近藤桂窗 (在東京)

壇浦懷古

近藤李甫 (在東京)

過高田邨想太田道灌事

三好瘦石 (在東京)

夏夜

島田嵐舟 (在東京)

秋日

鹽井吾子 (在東京)

春月 (硯友會課題)

東海林隣巒 (在東京)

秋晴出遊

秋里翠岡 (在東京)

秋 (一字不明) 聽蟲

植松雪淡 (在東京)

霜

清田無憂 (在東京)

贈善書人

堀田暢園 (在武藏)

高輪秋月

橫川千山 (在東京)

秋夜閑行

森川竹節 (在東京)

秋雨

戶川笑山 (在東京)

江樓望月

篠田白鷺 (在東京)

秋夜泛舟

時岡子鳳 (在東京)

賦得一寸光陰不可輕

川村竹崖 (在東京)

舟中別宴

內山耕山 (在東京)

秋夜讀書

佐藤有所 (在東京)

秋日偶成

大高溪雲 (在東京)

秋晴出遊

山內鴻谷 (在東京)

新涼

山本松峯 (在東京)

題美人圖

兒島厚軒 (在東京)

送友人之福島

深澤新城 (在東京)

湖上即景

齋藤馨谷 (在東京)

題山水圖

竹內清溪 (在東京)

初冬偶成

稻垣任笑 (在東京)

秋夜懷鄉

松原九皋 (在東京)

冬夜偶成

服部梅處 (在東京)

秋江晚望

藤岡秋香 (在東京)

余寓田家雜感

莊田月洲 (在東京)

題山水圖

田村耕雲 (在東京)

立秋

鹽川雲溪 (在攝津)

簾內美人

岡村梅軒 (在東京)

秋雨懷鄉

石附禪雄 (在東京)

元旦

濱名果立 (在東京)

秋夜宿山寺

關口天先 (在東京)

暮秋書感

稻葉翠淵 (在東京)

某氏園賞菊 (二首節一)

岩城道海 (在東京)

牽牛花

鷹尾國英 (在東京)

詠梅花水仙同瓶

市川湫村 (在東京)

聞蟬

原 大泉 (在東京)

送小管香邨遊常野

溝口桂巖 (在東京)

夏日舟行 (二首節一)

吉岡大巧 (在東京)

偶感

馬杉雲外 (在東京)

圍碁

片山文器 (在東京)

病牀雜感

大江敬香 (在東京)

詠松竹以祝松莊館菘竹吟篇發兌

太田鳥西 (在東京)

偶成

竹川濟楫 (在陸前)

秋日村居 (限韻)

森本沖洲 (在東京)

謁管公廟

柴田楓溪 (在東京)

從軍行

河邊愴齋 (在東京)

冬江晚歸

田村耕雲 (在東京)

○「菘竹新篇」第二集 (明治十七年十二月二十二日刊)

文

西伯傳

總生古道人 (在東京)

山莊春日

大橋甫山 (在大坂)

與松莊館衆員書

鹽井忸子 (在東京)

江村夜歸

山崎萩村 (在東京)

韓信論

木村洪鐘 (在東京)

秋山所見

金子孤芳 (在東京)

再與友人戒放逸書

子安和暢 (在東京)

醉鍾馗圖

加藤菽水 (在東京)

笑花園記

戶川笑山 (在東京)

寄父 (在大坂)

堀内桂舟 (在武藏)

與友人榎本君書

木内蒼谷 (在武藏)

新涼入書窗

森川竹節 (在東京)

催觀楓書

朝生學山 (在武藏)

秋夜偶成

岩城道海 (在東京)

放鶴記

高木菊坡 (在東京)

秋夜聞笛

近藤桂窗 (在東京)

金蘭簿自序

田村鵬雲 (在東京)

初冬即事

齋藤柳畝 (在東京)

范增論

森川竹篔 (在東京)

新秋

橫川千山 (在東京)

詩

奉贈清田快雨仁兄臺覽

月夜聞雁

磯部蒼崖 (在東京)

奉贈清田快雨仁兄臺覽

胡 秉卿 (清人在橫濱)

舟中望月

吉岡漂舟 (在東京)

奉贈清田快雨仁兄臺覽

胡 秉卿 (清人在橫濱)

雪夜讀書

小宮山蕭山 (在東京)

題烈王擊魯國圖

近藤恭堂 (在東京)

詠松

羽倉松陰 (在東京)

塞上曲

大高溪雲 (在東京)

冬夜泊舟

山崎丹石 (在東京)

晚春過勿來關

千葉香圃 (在東京)

秋日偶成

松尾靜山 (在東京)

除夜作

松崎蘭香 (在東京)

夢中作

武田中津 (在東京)

瀧川觀楓

鈴木秋嶽 (在東京)

送某歸故山

吉岡大巧 (在東京)

初冬山居

鹽川雲溪 (在攝津)

題楠公圖

鈴木清韻 (在武藏)

海樓偶題

關 訥堂 (在東京)

鴻臺

竹内清溪 (在東京)

鬪詩 (市川湫村先生評點)

(東) 冬晚泊江口

鷹尾沙鷗 (在東京)

(冬) 同

望月成園 (在東京)

(江) 同

松原九皋 (在東京)

(支) 同

藤岡秋香 (在東京)

(微) 同

石附雪釣 (在東京)

(魚) 同

原 壺仙 (在東京)

(虞) 同

湊 庸堂 (在東京)

(齊) 同

清田無憂 (在東京)

(佳) 同

稻垣任笑 (在東京)

(灰) 同

塚田琴嶺 (在東京)

(眞) 同

澤 一舟 (在東京)

(文) 同

川邨竹崖 (在東京)

(元) 同

内山耕山 (在東京)

(寒) 同

飯野雲萍 (在東京)

(山) 同

竹原鴨洲 (在東京)

○「葦竹新篇」第三集 (明治十八年一月二十四日刊)

文

觀臥龍梅記

馬杉雲外 (在東京)

造假山記

加藤香齋 (武藏人)

遊鹿野山記

加藤菽水 (在東京)

論志

高嶺樂山 (琉球人)

平重盛論

山本 貞 (在東京)

題兒童遊戲圖

玉井東洋 (東京人)

簡友人請賞雪

高橋鳳翔 (武藏人)

大石良雄論

竹原鴨洲 (山城人)

某詩集序

相川桂山 (武藏人)

題楠正成肖像

植松雪淡 (在東京)

詩

次友人某謁朝鮮仁川難死之諸子墓詩韻

清田快雨 (在東京)

竹林七賢圖二首

溝口桂巖 (在東京)

月夜聞隣人奏一絃琴

市川湫村 (在東京)

詠雪 (二首節一)

佐竹琴村 (尾張人)

新年作

篠田白鷺 (在東京)

全

田村耕雲 (在東京)

全

秋月梅窗 (日向人)

全

子安和暢 (常陸人)

全

築山霞雲 (東京人)

全

莊田月洲 (駿河人)

全

松崎蘭香 (在東京)

歲旦所見

時岡蕉雨 (東京人)

歲始偶成

鹽井弄子 (在東京)

楠公

島田嵐舟 (在東京)

早發

東條松山 (東京人)

新秋

松原九皋 (在東京)

小春出城

稻葉翠淵 (在東京)

過泉嶽寺弔義士墓

飯田石城 (駿河人)

雪中偶成

森川竹篔 (東京人)

秋晚書感

森 松濤 (攝津人)

山行

港 庸堂 (東京人)

瀧川觀楓

塚田琴嶺 (在東京)

鴻臺所作 (二首節一)

山村雪後

堀内缺伸子 (東京人)

幽莊獨居

米村三山 (在武藏)

冬夜宿山寺

庄司樵雲 (在東京)

詠竹

内山耕山 (東京人)

秋日贈友人

湯淺桂舟 (駿河人)

詠松

謝花南嶽 (琉球人)

偶成

清田無憂 (駿河人)

觀菊

堀田灌園 (在武藏)

落葉 (三五七言)

山本松峯 (在東京)

雪江觀梅

岡村梅軒 (在東京)

詠松

兒島厚軒 (東京人)

瀧川觀楓 (二首節一)

藤澤竹所 (在東京)

冬夜作

田中雲峯 (在東京)

除夜

藤岡秋香 (信濃人)

雪夜偶成

東海林隣巒 (羽後人)

春雨喜晴

關 秋堂 (岩代人)

抵王子村

雪樵數度 (東京人)

歲晚

三好瘦石 (在東京)

雪中偶成

森本愍堂 (東京人)

鬪詩 (溝口桂巖先生評點)

(甲) 詠竹

東海林隣巒 (羽後人)

(乙) 全

藤澤竹所 (在東京)

詩

(丙) 全

高木菊坡 (東京人)

寒夜思友

溝口桂巖 (在東京)

(丁) 全

齋藤馨谷 (東京人)

百日紅

市村湫村 (在東京)

(戊) 全

子安和暢 (常陸人)

歲晚感懷

大江敬香 (在東京)

(己) 全

清田無憂 (駿河人)

夏冰

關 訥堂 (大和人)

(庚) 全

松尾靜山 (在東京)

過古戰場

鈴木秋嶽 (在東京)

(辛) 全

森田買水 (磐城人)

遊富嶽

角田樂鄉 (在東京)

(壬) 全

大田五峯 (琉球人)

冬日看梅

山内鴻谷 (東京人)

(癸) 全

杉浦雲萍 (東京人)

雪中看梅

澤 一舟 (東京人)

○「葦竹新篇」第四集 (明治十八年二月二十四日刊)

文

荊軻論

馬杉雲外 (在東京)

晚春村居

羽倉松蔭 (東京人)

栗說

小田部子洗 (在東京)

新鶯出谷

小林香齋 (在東京)

觀菊記

小管正鶴 (武藏人)

題豐公征韓圖

武田中津 (在東京)

瀑布溪觀楓記

千葉香圃 (在東京)

寒夜讀書

竹内清溪 (東京人)

讀虎姬傳

長山柳臺 (武藏人)

雪中探梅

秋里翠岡 (東京人)

燈喻

高松勢逞子 (琉球人)

山寺春

田村鵬雲 (在東京)

與友人論文書

木内蒼谷 (武藏人)

江村秋意 (二首節一)

鹽川春漲 (東京人)

花月亭記

大橋甫山 (大坂人)

秋夜聞笛

穗坂穆堂 (甲斐人)

送井上巽軒先生序

磯部蒼崖 (東京人)

題旅舍壁

大田五峯 (琉球人)

題達磨圖

堀内桂舟 (武藏人)

春日山莊

加賀見遷喬 (武藏人)

送木下邦昌序

玉井東洋 (東京人)

碧雲吟莊賞雪

鹽川雲溪 (攝津人)

畫虎

齋藤柳畝 (在東京)

雪中偶成（次竹礒森川詞宗韻）

全

盆松

新年作

小向井看梅

寒夜偶成

觀梅

山寺觀楓

秋夜宿山寺

偶成

冬夜偶成

冬夜聞笛

經桶狹間

春日山行

謁管公廟

秋江月夜

送友人之西京

詠松

送友人歸鄉

秋夜讀書

冬曉

病中夜聞笛

客中聞雁

山崎秋村（在東京）

篠崎耐堂（遠江人）

杉浦雲萍（東京人）

松浦深川（在東京）

橫川蘆汀（在東京）

川村竹崖（在東京）

近藤桂窗（東京人）

小野田陽塘（東京人）

大高溪雲（在東京）

吉本南陽（上野人）

上森起夫（丹波人）

森川竹節（駿河人）

鈴木清韻（武藏人）

吉岡稻香（東京人）

高尾梅筵（南筑人）

右内襄陽（仙臺人）

石田清光（武藏人）

山中溪泉（伊豫人）

花形梧窗（武藏人）

佐藤有所（在東京）

坂田西州（日向人）

近藤恭堂（東京人）

小宮山蕭山（在東京）

鬪詩（溝口桂巖先生評點）

（東）中春村居

（冬）全

（江）全

（支）全

（微）全

（魚）全

（虞）全

（齊）全

（佳）全

（灰）全

（眞）全

（文）全

（元）全

（寒）全

（刪）全

長山柳臺（武藏人）

松原志竹（南越人）

但州妙山（在東京）

稻垣任笑（東京人）

堀内缺伸子（東京人）

森川竹節（駿河人）

藤澤竹所（在東京）

渡邊松澗（在東京）

清田無憂（駿河人）

内山耕山（東京人）

時岡蕉雨（東京人）

高木菊坡（東京人）

酒井梅仙（在東京）

子安和暢（常陸人）

湊庸堂（東京人）

○「某竹新篇」第五集（明治十八年三月二十五日刊）

文

題竹記

論淝水戰

後醍醐天皇論

總生古道人（在東京）

岡村梅軒（在東京）

嶋田秩山（在東京）

北條泰時論

高橋鳳翔（武藏人）

元旦作

三好瘦石（東京人）

移菊小記

松崎蘭香（在東京）

燕

加藤菽水（在東京）

題桃花流水圖

謝花南嶽（琉球人）

瀧川觀楓

田中雲峯（在東京）

紙鳶喻

篠田白鷺（東京人）

詠松

金子孤芳（在東京）

古柳園記

植井岩軒（在東京）

春日郊行

平井弄子（在東京）

贈梅花啓

稻葉翠淵（在東京）

鴻臺所作

堀内缺伸子（東京人）

書義人錄後

加藤香齋（武藏人）

春日遊南郊

關 秋堂（岩代人）

讀屈原傳

高嶺樂山（琉球人）

草廬三顧圖

石川文莊（在東京）

愛雪說

塚田琴嶺（在東京）

偶成（二首節一）

本城竹窗（磐城人）

詩

兒島高德白櫻樹圖

大沼沈山（在東京）

賞菊

相川桂山（武藏人）

題咏嘆詩鈔後

市川湫村（在東京）

詠史

秋月梅窗（日向人）

溪中早梅

溝口桂巖（在東京）

雪夜讀書

福永翠歐（東京人）

除日祭詩

馬杉雲外（在東京）

春日偶成

三浦東峯（東京人）

曉出觀梅

清田快雨（在東京）

早起至六郷橋時漁夫捕魚乃賦一絕

齋藤松濤（在東京）

移居書懷（次福井學圃見贈詩韻）

大江敬香（在東京）

秋興

藤岡秋香（信濃人）

花月吟

清田無憂（駿河人）

立春

野村崎浪（越前人）

冬夜書懷

莊田月洲（駿河人）

詠雪

佐竹琴村（尾張人）

龜戶村觀梅

渡邊松澗（東京人）

題畫（冬景）

森 松濤（大坂人）

冬日探梅

酒井梅仙（在東京）

歲暮

嶋田嵐舟（在東京）

春夜偶成

鈴木楓谷（在東京）

曉起聞鶯

時岡蕉雨（東京人）

夜聞落葉聲

田村耕雲（東京人）

即興

東條松山（東京人）

春夜聞笛

思故友

春夜聞笛

兒嶋厚軒（東京人）

河邊控齋（東京人）

鬪詩（市川湫村先生評點）

（甲）花下步月

（乙）全

（丙）全

（丁）全

（戊）全

（己）全

（庚）全

（辛）全

（壬）全

（癸）全

內山耕山（東京人）

松尾耕石（東京人）

稻垣任笑（東京人）

島原攻石（陸前人）

高木菊坡（東京人）

小野田陽塘（東京人）

子安和暢（常陸人）

篠澤竹所（東京人）

齋藤馨谷（東京人）

東海林隣覺（羽後人）

庸堂記

森川竹礫（東京人）

詩

杉田觀梅十首之一

聞春濤翁遠遊而歸家賦贈（并引）

春山將雨

春曉

遇梅村（次韻）

郊村晚步

春夜聞笛

送友人赴任于岩手縣二首（節一）

探梅

雪中梅花

雪中探梅

全

遊春雜詩三十首（節一）

春日閑居

春曉雨

觀臥龍梅

題臥龍梅

客中書感

惜春

遊寺

馬杉雲外（在東京）

總生古道人（在東京）

市川湫村（在東京）

大江敬香（在東京）

久保蒼江（播磨人）

古內襄陽（陸前人）

近藤李甫（在東京）

秋里翠岡（東京人）

阿部北巖（陸前人）

本多春陽（遠江人）

米村三山（在東京）

大高溪雲（在東京）

唐橋東郊（在東京）

鹽川雲溪（攝津人）

植松雪淡（在東京）

齋藤馨谷（東京人）

東海林隣覺（羽後人）

上森趙夫（京都人）

築山霞雲（東京人）

坂田西洲（日向人）

○「葦竹新篇」第六集（明治十八年四月二十五日刊）

文

回春堂記

遊殿山記

雜說

家興廢在子孫教育論

蠶說

讀文天祥正氣歌

賀節堂大竹兄榮轉書

讀日本外史源氏記

清田快雨（在東京）

井原知方（武藏人）

關 訥堂（大和人）

小管正鶴（武藏人）

川邨竹崖（在東京）

高木菊坡（東京人）

篠崎柳園（遠江人）

湊 庸堂（東京人）

雪中偶成（次竹篔森川詞宗之玉韻）

内山松堂（東京人）

（微）全

清田無憂（駿河人）

冬夜泊舟

松尾耕石（東京人）

（魯）全

鹽井弄子（在東京）

庭梅

飯田石城（東京人）

（虞）全

杉浦雲萍（東京人）

春寒

子安和暢（常陸人）

（齊）全

澤一舟（東京人）

題自畫（梅花）

竹川濟楫（在陸前）

（佳）全

島原攻石（陸前人）

美人觀菊花圖

近藤桂窗（東京人）

（灰）全

小野田陽塘（東京人）

春日過杉田村

鈴木清韵（武藏人）

（眞）全

齋藤馨谷（東京人）

全

花形梧窗（武藏人）

（文）全

湊庸堂（東京人）

春曉

伊丹枕流（在東京）

（元）全

竹原鴨洲（京都人）

哭某友

玉井東洋（東京人）

（寒）全

内山松堂（東京人）

將登富嶽發其八合窟

角田樂郷（在東京）

（刪）全

兒島厚軒（東京人）

春江晚景

山崎丹石（土佐人）

春宵

田村鵬雲（在東京）

○「葦竹新篇」第七集（明治十八年五月二十五日）

春日題回春樓（樓在常州新治郡沖宿里）

係醫師安村江癡所築

文

馬杉雲外（在東京）

春冷谿上

山崎萩村（在東京）

丁謂拂鬚論

石川文莊（東京人）

買梅

松原九峯

聖人無夢說（温知塾課題）

木内蒼谷（武藏人）

關詩（馬杉雲外先生評點）

（東）惜昔（限韻）

渡邊松澗（東京人）

池築記

大田五峯（琉球人）

（冬）全

藤澤竹所（東京人）

范增論

清田柳篔（駿河人）

（江）全

竹内清溪（東京人）

鎌受書屋記

鈴木楓谷（東京人）

（支）全

東海林隣蠻（羽後人）

書埼玉教育雜誌後

井上樂山（武藏人）

詩

吾華立夏節。因有感。遂成七言俚句一首。恭呈清田快雨先生

胡秉卿（清人在橫濱）

懷胡秉卿先生

清田快雨（在東京）

乙酉四月十二日東臺口占

溝口桂巖（在東京）

全十七日東臺觀花

溝口桂巖（在東京）

追次徂徠翁有所思韻

總生古道人（在東京）

江樓春晚（次福井學圃韻）

大江敬香（在東京）

書懷二首（節一）

島原攻石（陸前人）

春曉（自步賣花聲詩韻）

三好瘦石（東京人）

全

山本貞（在東京）

全

渡邊正溪（在東京）

雪後偶作

小野田陽塘（東京人）

題蘇武牧羊圖

小林香齋（東京人）

題山水圖

吉岡皓雲（東京人）

全

秋月梅窗（日向人）

清女捲簾圖

本城竹窗（磐城人）

題春江垂釣圖

野澤義（下野人）

倦繡圖

加藤菽水（東京人）

病中雜感

吉本南陽（上野人）

雪中觀梅

竹内清溪（東京人）

送人赴歐州

植井宕軒（在東京）

送友人

藤澤竹所（東京人）

梅

城東早春

曉行

管相公

全

論詩

百花園觀梅

春晴散策

夜

讀唐紀

春宵

芳山懷古

惜花

買梅

春日偶成

歲暮

全

春江晚釣

芳原竹枝

漁夫

暮春偶成

春日郊行

到山寺二首（節一）

松浦深川

渡邊松澗（東京人）

望月成園（在東京）

東條松山（東京人）

中川恭菴（東京人）

磯部蒼崖（東京人）

田村鷺塘（東京人）

秋場桂月（下總人）

鹽川春浪（東京人）

長山柳臺（武藏人）

杉浦雲萍（東京人）

千葉香圃（東京人）

森川竹節（駿河人）

兒嶋厚軒（東京人）

堀内缺伸子（東京人）

高嶺樂山（琉球人）

齋藤松濤（在東京）

澤一舟（東京人）

鈴木秋嶽（東京人）

金子孤芳（在東京）

時岡蕉雨（東京人）

橫川蘆汀（在東京）

關秋堂（岩代人）

赤壁懷古

松崎蘭香 (播磨人)

烟火說

市川湫村 (東京)

詠酒

村田樗堂 (東京人)

讀廉頗蘭相如傳

加藤香齋 (武藏)

懷友人

福永翠歐 (東京人)

題源將軍觀亂鴻圖

植松雪淡 (東京)

鬪詩 (溝口桂巖先生評點)

對嶽樓記

玉井東洋 (東京)

(東) 雨中櫻

東條松山 (東京人)

愛梅記

高嶺樂山 (琉球)

(冬) 全

杉浦雲萍 (東京人)

飛鳥山記行

高橋鳳翔 (武藏)

(江) 全

堀田灌園 (東京人)

船喻

岸本翠雲 (東京)

(支) 全

東海林隣贊 (羽後人)

織田信長論

島田秩山 (武藏)

(微) 全

高木菊坡 (東京人)

墨堤觀櫻記

篠田柳舟 (東京)

(魚) 全

橫川蘆汀 (在東京)

上杉謙信論

鹽井弄子 (但馬)

(虞) 全

服部簾齋 (遠江人)

蝶

大沼沈山 (東京)

(佳) 全

阿部柳巷 (陸前人)

紀事

總生古道 (東京)

(灰) 全

稻垣任笑 (東京人)

四月十八日、東臺觀花

溝口桂巖 (東京)

(眞) 全

松尾耕石 (東京人)

全二十二日、墨堤觀花

溝口桂巖 (東京)

(文) 全

村田樗堂 (東京人)

絕句

馬杉雲外 (東京)

(元) 全

鈴木楓谷 (在東京)

栗津原懷古

清田快雨 (東京)

(寒) 全

子安和暢 (常陸人)

初夏幽栖

大江敬香 (東京)

(刪) 全

千葉香圃 (東京人)

客中感慨

近藤桂窗 (東京)

(全) 全

中川泰葺 (東京人)

春夜聞笛

堀田灌園 (東京)

○「葦竹新篇」第八集 (明治十八年六月二十三日)

文

春郊聞笛

齋藤馨谷 (東京)

大高溪雲 (東京)

詠史

美人（次近藤牛五韻）

春夜

新柳

墨堤春日

全

春寒

春雨

全

春曉

晚春郊行二首（節一）

村居

全

惜春

青葉城懷古

初夏

曉發待渡

義家

竹枝二首（節一）

梅

春日偶成

題佐倉義民傳

春日送友人歸鄉

坂田西洲（日向）

篠崎柳園（遠江）

三木如雲（播磨）

秋里翠岡（東京）

加賀見遷喬（武藏）

石田清光（武藏）

川村竹崖（東京）

唐橋東郊（東京）

秋月梅窗（日向）

山内鴻谷（東京）

山崎萩村（常陸）

内山松堂（東京）

井原知方（武藏）

山崎丹石（土佐）

竹川濟楫（陸前）

眞下扁舟（駿河）

久保蒼江（播磨）

酒井梅仙（播磨）

阿部柳巷（陸前）

高木菊坡（東京）

森 春霞（東京）

東海林隣蠻（羽後）

鹽川雲溪（攝津）

夏日山居（限韻）

全

聞杜鵑

漁父

東臺觀櫻

漫興

烏衣歌

訪時岡蕉雨子

題藤公諫龍馬圖

鬪詩（市川湫村先生評點）

（金）柳陰繫舟

（石）全

（絲）全

（竹）全

（匏）全

（土）全

（革）全

（木）全

山中溪泉（伊豫）

島田嵐舟（東京）

松尾耕石（東京）

山中鶴靜（羽前）

高木喜久（東京）

上森越夫（丹波）

森川竹篔（東京）

河邊惺齋（東京）

森本沖洲（東京）

堀内缺伸子（東京）

中川泰莖（東京）

篠田柳舟（東京）

久保蒼江（播磨）

服部簾齋（駿河）

松尾耕石（東京）

渡邊松潤（東京）

杉浦雲萍（東京）

○「菘竹新篇」第九集（明治十八年七月三十日刊）

文

讀諸葛亮傳

總生古道人（東京）

遊櫻溪記

熊野石腸 (在京)

燕詞

清田柳篔 (駿河)

題孔子釋迦耶蘇對酌圖

東條松山 (東京)

五月聽鶯

湊 庸堂 (東京)

老馬說

塚田琴嶺 (東京)

又

澤 一舟 (東京)

思想論

竹原鴨洲 (京都)

子規

時岡蕉雨 (東京)

織田信長論

竹内清溪 (東京)

全

杉浦雲萍 (東京)

源義經論

山本 貞 (東京)

全

中川泰葦 (東京)

題楠公訣兒圖

秋場桂月 (下總)

題酒樓壁

茅原南陵 (東京)

豐臣秀吉論

齋藤松濤 (東京)

吊楠公

島原攻石 (陸前)

詩

花澤知清君、於鶴舞街松琴樓、設書畫會、期以今茲三月十五日、安

春日郊行

石川文莊 (東京)

川柳溪子、報之於余、余有事故、迨其期不能赴焉、遂綴七律三章、

函嶺湖上曉景

森川竹香 (駿河)

以答謝之云、

市川湫村 (東京)

詠櫻

藤澤竹所 (東京)

新田義貞

溝口桂巖 (東京)

江村首夏

羽倉松陰 (東京)

今井兼平

清田快雨 (東京)

又

吉岡皓雲 (東京)

尾州途上 (西遊紀行詩中鈔出)

大江敬香 (東京)

春曉 (限韻)

築山霞雲 (東京)

題葦竹新篇

日向江雲 (相模)

春江花月夜

三好瘦石 (東京)

梅雨

酒井薰洞 (東京)

梅窗新月十首之一 (荃湖詩屋席上探題分韵)

加藤菽水 (東京)

全

芥川盈涯 (東京)

暮春雜感、席上分韵得詩字

磯部蒼畦 (東京)

全

渡邊正溪 (東京)

蕉陰煮茶

田村鷺塘 (東京)

全

飯田石城 (東京)

落花

渡邊松澗 (東京)

梅雨偶成十五首 (錄一)

小野田陽塘 (東京)

初夏閑居

佐野翠歐 (東京)

矢口懷古

安藤松嶺 (東京)

客舍聞子規

鈴木清韵 (武藏)

題山水圖

田中竹陰 (東京)

夏日漁村

横川蘆汀 (東京)

北海道雜吟 (節一)

丸井鷗涯 (下野)

初夏

兒島厚軒 (東京)

書感示人 (舊稿)

望月成園 (東京)

鴻臺懷古

千葉香圃 (東京)

題高德白櫻樹圖

小林香齋 (東京)

初夏雨窗

山内鴻谷 (東京)

墨水初夏

野間里治 (東京)

柳橋竹杖

荒木石巷 (全)

牡丹

齋藤馨谷 (全)

漁父 (限韻)

鈴木秋嶽 (東京)

鬪詩 (馬杉雲外先生評點)

(甲) 山中銷夏

渡邊松澗 (全)

(乙) 全

内山松堂 (東京)

(丙) 全

杉浦雲萍 (東京)

(丁) 全

石川文莊 (東京)

(戊) 全

千葉香圃 (東京)

(己) 全

清田柳磯 (駿河)

(庚) 全

築山霞雲 (東京)

(辛) 全

高木菊坡 (東京)

(壬) 全

齋藤馨谷 (全)

(癸) 全

松尾耕石 (東京)

○「葦竹新篇」第十集 (明治十八年八月二十五日刊)

文

出處辨

馬杉雲外 (東京)

讀新聞紙有感

篠崎柳園 (遠江)

老柏記

井原知方 (武藏)

加藤清正論

岸本苔石 (京都)

豫讓論

岡村梅軒 (東京)

夏水記

石井雲巢 (東京)

藤原藤房論

高木菊坡 (東京)

兵論

篠田柳舟 (東京)

習說

森川竹磯 (東京)

詩

喜雨歌次韵放翁

溝口桂巖 (東京)

富嶽圖

總生古道人 (東京)

贈清客廖錫恩 (神戸領事) 張芝軒 (全書記官) 楊硯池 (全上) 三君

(係神戸客中作)

大江敬香 (東京)

奉祝小御門神祠落成併追吊藤原師賢公

市川湫村 (東京)

送人從軍

伊藤柳江 (陸前)

夜泊、以唐張繼楓橋夜泊、月落烏鳴霜滿天之句爲韵 (節一)

水亭避暑

河邊控齋（東京）
島津彩水（駿河）

老僧倚榻圖
江亭避暑

近藤桂窗（全）
岸本東村（琉球）

寄岩間正備浴熱海溫泉

岡田靜淵（全）

山中銷夏

鹽井弄子（但馬）

江樓夏夜

田中松篸（播磨）

答友人見寄

竹川濟楫（陸前）

初夏晚景

安田 音（武藏）

田家

野澤 義（下野）

村女採茶圖

島 履堂（出雲）

詠史

坂田西洲（日向）

橋上晚步

村田樗堂（東京）

常磐雪行圖

平山香山（下總）

蝸牛

松澤後彫（讚岐）

採蓮

阿部柳巷（陸前）

過桃溪

三木如雲（播磨）

梅雨二首（錄一）

鹽川春漲（東京）

越圖進西施圖

川村竹崖（東京）

田園雜興二首（節一）

唐橋東郊（全）

鬪詩（溝口桂巖先生評點）

詠松

井上芳流（全）

（天）松陰獨坐圖

鈴木秋嶽（東京）

元寇覆溺圖

島 淨友（出雲）

（地）全

森田買水（全）

讀奇妓瀧本傳

飯島李蹊（武藏）

（人）全

石川文莊（全）

池亭靜坐

松尾耕石（東京）

（金）全

高木菊坡（東京）

初夏偶成

赤松翠軒（東京）

（石）全

田村鷺塘（東京）

題忠度宿花下圖

秋月梅窗（日向）

（絲）全

湊 庸堂（全）

懷友人

木内蒼谷（武藏）

（竹）全

服部簾齋（駿河）

午睡

關 秋堂（岩代）

（匏）全

村田樗堂（東京）

觀蓮

松坂巖溪（美作）

（土）全

日向江雲（相模）

江村晚歸二首

藤元南翠（和泉）

（革）全

中川泰菴（東京）

觀布引瀑

長山柳臺（武藏）

（木）全

藤澤竹所（東京）

池塘聞蛙

內山松堂（東京）

○「棗竹新篇」第十一集（明治十八年九月二十五日刊）

文

西京市誌序

總生古道人（東京）

洗竹說

坂入奇巖（常陸）

苔石文鈔序

湊 庸堂（東京）

擬義貞乞誅戮尊氏之表

鈴木清韻（武藏）

和氣清麿論

木村洪鐘（東京）

記楠正成之事

植松雪淡（東京）

秦始皇論

高嶺孤洲（琉球）

蕩々齋記

石川文莊（東京）

詩

敗荷

馬杉雲外（東京）

南橋納涼、分月明船笛參差起、風定池蓮自在香之句、得在字

偶成

溝口桂巖（全）

偶成

市川湫村（全）

秋興八首（節一）

大江敬香（東京）

送友人

高木喜久（全）

將赴任于相州橫須賀、口占

森本沖洲（全）

立秋

齋藤松濤（全）

晚步偶吟

三箇島省（東京）

牡丹

澤 一舟（全）

江亭避暑

山本松峯（全）

梅中即事

杉浦雲萍（東京）

新秋宴集

鹽川雲溪（攝津）

送友人

田中竹陰（東京）

新秋

磯部蒼崖（全）

江上

三好瘦石（全）

全

橫川蘆汀（東京）

洋中望勿來關

島原攻石（陸前）

題畫

鈴木秋嶽（東京）

墨水晚釣

野間里治（東京）

贈磯部蒼崖詞契

吉本南陽（上野）

詠蓮

小田切桃陰（紀伊）

又

藤澤竹所（東京）

病臥（原二）

堀内缺伸子（東京）

墨水舟遊

小野田陽塘（全）

驟雨

大田五峯（琉球）

夏日山居

兒島厚軒（東京）

秋宵

飯田石城（駿河）

五月聞鶯

竹内清溪（東京）

秋日山行次富樫富山韵（原三）

山中鶴靜（羽前）

初夏閑居、分韵得閑字

田村鷺塘（東京）

河橋納涼

酒井薰洞（全）

山中閑居

三嶋香洲（紀伊）

題畫松

島田嵐舟（東京）

早秋孤村

芥川盈涯（東京）

（人）全

森川竹香（駿河）

拜觀 神武天皇畫像

東海林隣覺（羽後）

（金）全

田中竹陰（東京）

山房初夏

中川泰葦（東京）

（石）全

高木菊坡（全）

送友人

山中溪泉（伊豫）

（絲）全

鈴木秋嶽（東京）

海樓眺望

茅原南陵（東京）

（竹）全

澤一舟（全）

夜過梅村

丸井鷗涯（下野）

（匏）全

村田樗堂（全）

長夏曝書

清田柳磯（駿河）

（土）全

松尾耕石（全）

美人浴後圖

齋藤馨谷（東京）

（革）全

田中松磯（播磨）

綠陰讀書（次韻）

山内鴻谷（東京）

（木）全

服部簾齋（駿河）

洋字

望月成園（全）

○「葦竹新篇」第十二集（明治十八年十月二十五日刊）

淮陰侯

熊野石腸

文

從軍行

大高溪雲（東京）

西京市誌自序（接前集）

總生古道人（東京）

寄友人

時岡蕉雨（東京）

陳平論

岸本東村（琉球）

北窗愛涼二首之一

山本 貞（全）

愛竹說

阿部柳巷（陸前）

竹閒看月

秋里翠岡（全）

南翠說

藤元南翠（河内）

賀磊々唸館開館

荒木石巷（全）

植柳記

木内蒼谷（武藏）

新秋

佐々木泰湖（東京）

玉川納涼記

長山柳臺（武藏）

題大楠公捲卷軸小楠公圖

本城竹窗（磐城）

答賜梅花

篠田柳舟（東京）

題醍醐帝寒夜脫御衣知萬民貧窶圖

清田快雨（東京）

題詩海彩瀾首

島 淨友（出雲）

鬪詩（市川湫村先生評點）

齋藤馨谷（東京）

北條泰時論

鹽井弄子（但馬）

（天）新秋

藤澤竹所（全）

植竹記

小管正鶴（武藏）

（地）全

詩

陽歷五月中遊途晚歸口占句、書請清田快雨先生正之

王 黍園(清人)

麟祥院偶作(寺在本郷係寛永年間創建云故及)

總生古道人(東京)

秋懷(係神戸客中作)

大江敬香(東京)

秋夜

藤木陽洲(東京)

貧者行

内山松堂(全)

夜雨

佐野翠歐(全)

鎌倉懷古(北條氏舊迹)

本多春陽(遠江)

秋夜聞蟲

篠崎柳園(東京)

即事

石井雲巢(全)

經古戰場

井上芳流(東京)

春郊花月夜

加藤壽山(相模)

詠菊

高木菊坡(東京)

螢

鹽川春漲(全)

屋島懷古

角觥

江村秋夜

月前煎茶

客舍聞子規

秋夜聞笛

所見

螢火

曉行

常磐雪行圖

曉發

送友人

秋日偶成、步森川竹篔詞宗韵

聞蟲聲有感

客舍聞鶉

觀楓

觀蓮

大久保公

雪中梅

月夜烹茶

澤上春夜

竹軒吟

松澤春眠(讚岐)

秋月梅窗(日向)

丸岡樂山(阿波)

近藤桂窗(東京)

松坂巖溪(美作)

宮崎翠圃(東京)

加藤菽水(東京)

松尾耕石(全)

山崎丹石(土佐)

千葉香圃(東京)

平山香山(下總)

玉井東洋(東京)

松崎蘭香(全)

森川竹香(駿河)

鳴 履堂(出雲)

金子孤芳(東京)

塚田琴嶺(全)

竹原鴨洲(京都)

蘭蕙女史(東京)

服部簾齋(駿河)

渡邊松潤(東京)

森川竹篔(東京)

注

- (1) 「菘竹新篇」第壹集から第九集については、発行所と持主はそれぞれ「松莊館」と「太田勝敬」であるが、出版人は「森本鉦太郎」、また編輯人は「河邊錦之丞」(第壹集は編輯人の記載無し)となっている。「菘竹新篇」第十集の「館告」に「森本氏ハ近來多忙ニシテ本館々務ニ従事スル能ハサルヲ以テ特別員トシ更ニ本集ヨリ清田快雨先生ヲ聘シ編輯ヲ依頼セリ、館員諸君モ亦益奮テ雄編傑作ヲ投セラレヨ」とあるように、清田嘿(快雨)は第十集より編輯を擔當するようになった。
- (2) 「菘竹新篇」第壹集から第三集、及び第十一、十二集は「発行所 東京麴町區三番町三十四番地 松莊館」とあり、第四集から第十集では「発行所 東京麴町區三番町三十三番地 松莊館」となっている。
- (3) この「新秋雨夜」詩については、拙稿「竹篔詩詞文拾遺 附鷗夢樓詩集題詞及序」(「立命館白川靜記念東洋文字文化研究所紀要」第二號、二〇〇八)に紹介した。

(立命館大學文學部教授)